

名東区 貴船学区

現地本部・避難所等リスト

各自治会の現地本部（一時集合場所）に集合し、下記の指定避難所等へ移動しましょう。

各自治会の現地本部(一時集合場所)に集合し、下記の指定避難所等へ移動しましょう。

(お願い)自宅の被害が少ない場合は、なるべく自宅で生活しましょう。

凡 例

- 指定避難所:** 自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間避難生活を送るためのところ。

指定緊急避難場所 (広域避難場所): 地震・大規模な火事の指定緊急避難場所であり、大火から避難者を守るための空間を有している公園・緑地など。
(猪苗緑地が該当します。)

指定緊急避難場所 (一時避難場所): 地震の指定緊急避難場所であり、一時的に避難して様子をうかがうところ。
(一社公園、貴船公園が該当します。)

集 一時集合場所

公衆電話

WC トイレ

WC 下水道直結式仮設トイレ

医 医療救護所

地下式給水栓

防火倉庫

応急給水施設

掲示板 (矢印) 避難経路

内水氾濫の想定浸水深0.5m以上

液状化発生の可能性が高い

想定し得る最大規模の風水害(洪水、内水氾濫)、地震、ため池などすべての災害を掲載した新しいハザードマップや防災情報、日ごろからの備えなどをまとめたものです。



名古屋市ウェブサイトで
閲覧できます。

いつでも見られる携帯版防災マップです。
スマートフォンやタブレット端末で被害想定
や避難所情報を確認しましょう。



10.9



アンドロイド版

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

NTT が設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし国際電話はつながりません。

マンホールに直結できる仮設トイレです。
避難所のトイレ不足を補います。

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため
火災延焼の危険あり

2. 古いブロック塀

大きな地震では倒壊する危険があるため
近づかない

3. 狭い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて
通りにくくなる可能性あり

4. 電線

切れた電線は停電時でも感電の危険がある
ので、絶対に近づかない

この地図は、名古屋都市計画基本図（令和2・3年作成）を使用して作成しています。

作成：貴船学区連絡協議会/名東区役所/名東消防署（令和5年3月作成）

名東区貴船学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、**震度6弱**（一部地域では**震度6強**）の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。**揺れがおさまった後、自宅が被害を受けたかまたは受けるおそれがある場合は適切な避難を行いましょう。**液状化現象が起きる可能性が高い個所では、建物が傾いたり、路上に水が溢れ出し、通ることができなくなるおそれがあります。適切な避難経路をあらかじめ確認しておきましょう。

地震発生！震災時の対応

揺れた

●身の安全の確保

- ・頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- ・安全に消せる場合は火を消す
- ・家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にあるもので頭を守りましょう

安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具の転倒防止対策**は日頃からしっかり進めておきましょう



揺れがおさまった

- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 出入り口の確保
- テレビ・ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持ち出し品の準備

自動車を運転しているときは…
パンクしたような感じになり、ハンドルをとられて運転が困難になります
★車を左側に寄せてエンジン停止！
★ラジオなどで災害情報を確認！
★ドアロックせず、キーはつけたまま避難



◆地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

- 例）
- ・土砂災害警戒区域ではない
 - ・建物が傾いていたり、亀裂が生じたりしていない

可能

在宅避難

不可能

現地本部（一時集合場所）に集合して避難先へ

自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を！

指定避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける“在宅避難”を考えましょう。その際は、下記のことを心がけましょう。



高齢者や障がいのある方などが取り残されていないか確認しよう！



現地本部（一時集合場所）に在宅避難を伝えよう！



周囲で声かけし、食料や物資を分け合おう！

安全に避難するための6つのポイント

① ガス・水道の元栓を閉め、ブレーカーを切る！



② 近所への声かけ！



③ 高齢者や障がいのある方などの避難誘導を！



④ 原則徒歩で！（渋滞抑止・高齢者や障がいのある方などの避難を妨げない）



⑤ 木造住宅密集地やがけ地は避け、川の近くへ行く時は注意を！



⑥ 二次災害に気をつけながら消火・人命救助の手伝いを！



一人では逃げるのが難しい方への対応

名東区では、「めいとう総合見守り支援事業」に取り組んでおり、自治会長や民生委員等を始めとする地域の支援者が、災害時に一人で避難できない人々（以下要支援者）の安否確認や避難誘導を行います。

【災害時の支援のお願い】

災害時にご自身・ご家族が無事で、要支援者の支援が可能な方は、表面（地図面）の現地本部・避難所等リストの現地本部（一時集合場所）へお集りいただき、支援のご協力をお願いします。

安否確認

地域の支援者が、要支援者の自宅を訪問して安否確認を行います。要支援者が現地本部（一時集合場所）への移動を希望する場合は誘導し、自宅待機を希望する場合は注意を促します。安否確認の結果は現地本部（一時集合場所）に集約します。



避難誘導

要支援者が、自宅から自治会ごとに定めた現地本部（一時集合場所）や指定避難所へ移動する場合、車イスやリヤカー等も使用して、避難誘導を行います。避難誘導には、要支援者の身体状況などに応じて、1～3名程度の支援者が必要です。



備蓄品・非常持出品 チェックリスト

災害や避難に備えて、ふだんから準備・点検しておきましょう。

備蓄品 災害に備えて用意しておきたいもの

●命をつなぐために用意しておきたいもの

- ☐ 保存がきく食品（自分がたべやすいもの）
 - ☐ 常備薬（持病の薬を含む）
 - ☐ 飲料水（ペットボトル）
- 1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品（ゼリーなど）と組み合わせることで量を減らすことができます。

●防災用品

- ☐ 給水用のポリ容器・バケツ
- ☐ ロープ
- ☐ バール
- ☐ のこぎり・工具など
- 燃料
- ☐ カセットコンロ（予備のボンベ含む）
- ☐ 固形燃料

●寝具等

- ☐ 毛布
- ☐ 寝袋
- ☐ キャンプ用テント
- 便利用品
- ☐ ドライシャンプー
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ 歯ブラシ

7日分 程度用意しましょう

内3日分程度は非常持出品へ

非常持出品 避難する時に持っていくものを袋にまとめておく

●防災用品

- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 軍手

●貴重品

- ☐ 現金（小銭も必要）
- ☐ 預（貯）金通帳の写し
- ☐ 健康保険証・免許証の写し
- ☐ カード類
- ☐ 認印・印鑑など

●照明等

- ☐ 懐中電灯（電池含む）
- ☐ マッチ・ライター
- 医療用品
- ☐ 三角きん
- ☐ 包帯・ガーゼ
- ☐ ばんそうこう
- ☐ 消毒液
- ☐ ウェットティッシュ（ティッシュ）
- ☐ お薬手帳の写し

●食器類

- ☐ はし・スプーン
- ☐ 紙皿・紙コップ
- 便利用品
- ☐ 筆記用具
- ☐ 新聞紙
- ☐ 携帯用トイレ
- ☐ キッチン用ラップ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 雨具
- ☐ 手動携帯電話充電器

●衣料品

- ☐ 衣料（着替え）
- ☐ タオル（大小2種類）
- その他（個人的に必要なもの）
- ☐ 粉ミルク
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 生理用品
- ☐ 予備のメガネ・補聴器など

避難する際には可能な限り、『体温計、マスク、アルコール消毒液、スリッパ、ごみ袋』を非常持出品に追加して準備しましょう。